

## 情報交換会のお知らせ

9.1(火) 18:30~20:00 (要事前申込、下記参加登録ウェブページよりお申込ください)

会場：ホテルメルパルク長野 住所：長野県長野市鶴賀高畑752-8 <http://www.mielparque.jp/nagano>  
会費：5,000円(当日受付にてお支払いください。)

## 年次大会参加登録

参加登録ウェブページ <http://www.rman.jp/meetings2015/regist.html>

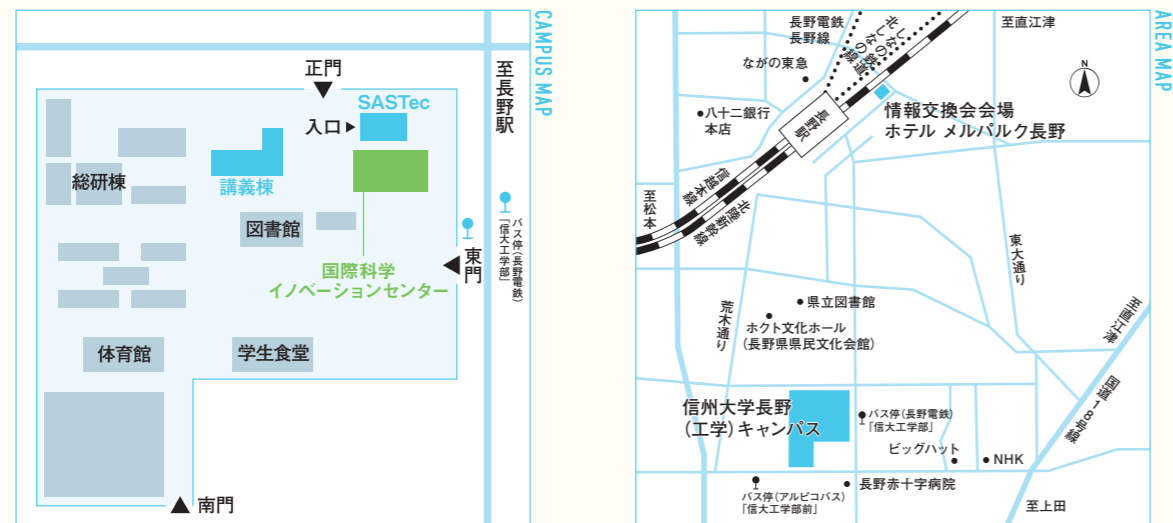
上記よりフォーム参加登録をお願いします。登録完了後、受付票とともに参加費振り込みに関するメールが自動送信されます。当日は同メールをプリントアウトしてご持参ください。なお、参加登録期限は8月14日(金)となります。

## 口頭発表・ポスター発表登録

発表申込ウェブページ <http://www.rman.jp/meetings2015/presentation.html>

上記ウェブページから募集要項および参加申込書をダウンロードのうえ、希望者は7月6日(月)までにお申込ください。なお、発表予稿集の原稿提出期限は8月17日(月)となります。

## 会場案内



信州大学長野(工学)キャンパス SHINSHU UNIVERSITY NAGANO (ENGINEERING) CAMPUS 〒380-8553 長野県長野市若里4-17-1

長野電鉄バス利用の場合：JR長野駅東口から長電バス21番のりば「保科温泉」「日赤線」のいずれかに乗車(5分)、バス停「信大工学部」で下車して、進行方向と反対に直進し「北市」交差点を左折してから、徒歩2分(約200m)直進すると左側に工学部正門があります。

アルピコバス利用の場合：JR長野駅善光寺口を出てアルピコバス2番のりばで、「日赤線由大塚南行き」「松岡行き」「ビッグハット行き」のいずれかに乗車(8分)、バス停「信大工学部前」で下車し、進行方向に向かって徒歩3分(約300m)直進すると左側に工学部南門があります。

徒歩の場合：JR長野駅東口から、徒歩20分

お問い合わせ

RA協議会年次大会 実行委員会事務局 信州大学URAセンター  
TEL:0263-37-3421 e-mail:1stran\_j@shinshu-u.ac.jp <http://www.rman.jp/meetings2015/>



SHINSHU UNIVERSITY



# RA協議会第1回年次大会

2015.9.1(火) 09:00(受付開始) ~ 9.2(水) 16:00(終了)

- 開催場所：信州大学長野(工学)キャンパス(SASTec、信州大学国際科学イノベーションセンター、講義棟)
- 対象：URA業務従事者、大学などの管理者、URAに関心のある方
- 参加費：会員5,000円、非会員20,000円、学生3,000円(情報交換会は別途5,000円)
- 主催：リサーチ・アドミニストレーター協議会

# リサーチ・アドミニストレーターのレベルアップから組織の研究力強化へ

我が国の大学等の研究開発マネジメント強化等を図ることを目的として文部科学省が開始した事業を契機に、全国の大学等において、リサーチ・アドミニストレーター (RA) が育成・確保されるようになりました。これら、全国の大学等において育成・確保されてきたRAの新たなネットワークとして設立されたリサーチ・アドミニストレーター協議会 (RA協議会) の第1回年次大会を開催いたします。本大会は、これまでに構築されてきたリサーチ・アドミニストレーションシステムの更なる強化・発展と、これまでに培われてきたRAのスキルアップを通じて組織の研究力強化を図るべく、「リサーチ・アドミニストレーターのレベルアップから組織の研究力強化へ」をテーマに開催いたします。RAに関心のある皆様の多数のご参加をお待ちしております。

プログラムの詳細につきましては、ホームページ (<http://www.rman.jp/meetings2015/>) でご確認ください。

## RA協議会特別セッション

- 1 関係省庁講演** 9月1日 10:40~12:10  
文部科学省・経済産業省・日本医療研究開発機構 (予定)
- 2 大学執行部特別セッション** 9月1日 15:00~16:30  
「大学経営においてURAをどのように活用するのか」(仮)  
【モデレーター】 金沢大学 学長 山崎 光悦 氏  
【パネリスト】 神戸大学 理事(研究・産学連携担当) 小川 真人 氏 / 信州大学 学長 山沢 清人 氏  
徳島大学 学長 香川 征 氏 / 長崎大学 理事(研究担当) 福永 博俊 氏 / 福井大学 理事(研究・国際担当) 岩井 善郎 氏

## 企業等セッション

- C-1 ウェルズブリッジ社** / 9月1日 10:40~12:10 「大学のリサーチをナレッジサプライチェーンとして管理」
- C-2 EURAXESS LinksJapan** / 9月1日 10:40~12:10  
「日欧共同研究&研究者モビリティのあらゆる可能性」
- C-3 (公財) 助成財団センター・RA協議会** / 9月1日 10:40~12:10  
「民間助成財団と助成について 一助成金獲得に向けた留意点など」(仮)
- C-4 エルゼビア・ジャパン(株)** / 9月1日 13:10~14:40  
「競争力を向上させるための大学分析~IRにおける研究者個人レベルまでの把握の重要性~」
- C-5 ネイチャー・ジャパン** / 9月1日 13:10~14:40 「グローバル化時代の大学メディア戦略」
- C-6 トムソン・ロイター・プロフェッショナル(株)** / 9月1日 15:00~16:30  
「研究評価ツールのRA業務への活かし方~評価・分析業務と戦略立案の実際~」
- C-7 エダズグループ・ジャパン(株)** / 9月1日 15:00~16:30  
「国際競争力のある研究論文数を向上させるために一国内およびアジア諸国の論文執筆・投稿支援事例の紹介」
- C-8 (株) ジー・サーチ・科学技術振興機構** / 9月2日 9:00~10:30  
「コラボリーセッション: 研究戦略分析と外部資金獲得、JST情報資産の活用」
- C-9 (株) メディアフュージョン** / 9月2日 10:50~12:20 「2013年アジア大学ランキング1位の大学戦略の紹介」

## 企業ブース展示

- 1 エダズグループ・ジャパン(株)**
- 2 エルゼビア・ジャパン(株)**
- 3 Ebsco International, inc. Japan**
- 4 トムソン・ロイター・プロフェッショナル(株)**
- 5 (株) メディアフュージョン**



## 大学セッション

- U-1 公的研究助成とオープンサイエンス(京都大学)** / 9月1日 13:10~14:40  
オープンサイエンス時代の到来に向け、国内外の政策的動向から京都大学での具体的取組みまでを紹介し、これからのURAに求められる役割について議論する。
- U-2 これからの研究広報をジャーナリストと語る(首都大学東京)** / 9月1日 13:10~14:40  
研究広報において新聞・雑誌等のメディアへの露出効果は大きい。各種メディアのライターに登壇してもらいメディアを有効活用した大学の研究広報について考える。
- U-3 事務組織との連携について(徳島大学)** / 9月1日 13:10~14:40  
URA組織の運営上、事務組織の協力的な業務遂行は困難である。今回は、事務組織との連携・協力を中心に据え、各大学での問題点と解決方法等について議論する。
- U-4 人文社会系の研究力ってどうはかるの?(大阪大学)** / 9月1日 15:00~16:30  
人社系の研究力分析・評価等に関するケーススタディや海外事例の紹介を踏まえ、日本の人社系研究推進につなげるという視点から、組織の枠を超え俯瞰的な議論を試みる。
- U-5 国際連携推進についての課題と問題点について(奈良先端科学技術大学院大学)** / 9月1日 15:00~16:30  
海外研究機関と連携を推進するには、人(契約)・物(実験機器)・金(研究費、経費)など、様々な障壁がある。その成功例から具体的な課題や問題点について議論する。
- U-6 これからの大学運営—URAは何ができるのか—(大阪大学)** / 9月2日 9:00~10:30  
大学において経営の視点を強化することが国から期待されています。そのような中で、URAはどのような視点を持ち、能力を身につけるべきなのかを議論したいと思います。
- U-7 外国人率68%、Happy率96%(?)大学のグローバル化 何をどう進めたらいいか?(沖縄科学技術大学院大学)** / 9月2日 9:00~10:30  
外国人研究者が“ここで研究を続けたい”と思わせる環境作りについて、世界で選ばれる大学になるためにいう視点で、競争的資金応募と生活面の支援に焦点を絞り、事例研究の場とします。
- U-8 大学共同利用機関におけるURA発IRの取り組み(情報・システム研究機構)** / 9月2日 9:00~10:30  
既存の評価軸では埋もれていた共同研究など研究者の貢献を測るための指標の開発とその視覚化について、及び学術データベースの整備案を含めたIRに関する議論を行う。
- U-9 URAによる研究先導の取組(長崎大学)** / 9月2日 9:00~10:30  
大学の研究戦略立案のための情報とデータ提供、プロジェクトの創出・立案、研究者への研究トレンド情報提供などの事例紹介と共に、「URAによる研究先導の展望」について議論する。
- U-10 初中級向け演習「プロジェクト企画立案支援」(参加型)(東京農工大学)** / 9月2日 9:00~10:30  
初中級者を対象に研究プロジェクト立案支援や申請資料作成支援を中心としたプレアワード業務について基本的な解説と模擬事例を使った対話型の演習を実施する。
- U-11 研究成果を世界へ配信:なぜ、どうやって、そして誰が(京都大学)** / 9月2日 13:20~14:50  
海外広報が目目を浴びる今、何をどう書いてどこに送るべきか、配信サービスの選択やライティングのコツ等を取り扱う。実践から離れることなく海外メディア戦略を俯瞰する。
- U-12 研究戦略を反映するURAの将来展望(徳島大学)** / 9月2日 13:20~14:50  
大学の研究戦略に基づき、その成果を未来へ創出するには、URAのプロジェクト立案と運用とが鍵となる。産学連携の視点から基礎研究支援の在り方と手法について議論する。
- U-13 新旧に見るURAの価値と定着(神戸大学)** / 9月2日 13:20~14:50  
URA新設・先行大学において、URAの学内での役割や定着に関する事例紹介とノウハウを議論することで、URAが誰にどのような価値を提供するのかを改めて考えたい。
- U-14 私大の研究力強化への新たな取組II(関西大学)** / 9月2日 13:20~14:50  
日本の大学の77%を占める私立大学のURA体制はまだ十分とはいえない。本セッションでは私大URAの活動事例を紹介し、研究推進体制やURA資質向上の一助にしたい。
- U-15 Post-AwardにおけるURA活動の新展開(福井大学)** / 9月2日 13:20~14:50  
URAと事務職員との協働を通じ、省庁・企業関係者や研究者との連携を図り、次のプロジェクト展開へ繋ぐ新モデルを紹介し、その有用性について立命大、大阪府大と討論する。
- U-16 ケースメソッド演習「大学の研究戦略立案」(金沢大学)** / 9月2日 13:20~14:50  
大学の研究戦略立案を題材とし、ケースメソッドを用いた中上級者向けの実践的なセッションを行う。

## ポスターセッション&オーラルセッション 9月2日 10:50~12:20

URA個人が成果などを発表する口頭発表とポスター発表が行われます。口頭発表及びポスター発表を募集いたしますので奮ってご応募ください。

## RA協議会総会 9月1日 16:50~17:50